

誤薬防止支援システム『誤薬チェッカーPro』

サーバ設定ガイド

本書は製品の近くに置いてご活用ください。誤薬チェッカーアプリ操作に関する説明をしています。

誤薬チェッカーとは 2

サーバを利用したファイルの管理 3

サーバの設定 5

誤薬チェッカーとは

『誤薬チェッカー』は QR コードと iPhone 端末を利用した、誤薬防止支援システムです。介護施設における服薬介護の誤薬トラブルを解消し、介護者の負担を減らします。

服薬時の課題

介護施設における服薬介護での誤薬の問題は最も重要な課題です。ダブルチェック、トリプルチェックと手間とリソース（人員）をかければ、誤薬のリスクを減らすことは可能ですが、介護コストに大きく影響を与えます。誤薬チェッカーを用いることで、手間とリソースを抑えながら、誤薬トラブルを解消し、介護コストの削減を実現することが可能です。

誤薬チェッカーを使った服薬の流れ

- 介護施設で使用する iPhone 端末に誤薬チェッカーアプリをインストールしておきます。
- 服薬時、薬袋に張り付けた QR コードを誤薬チェッカーアプリを使って読み取ります。この時、服薬対象者の顔写真が表示されます。
- 服薬対象者の QR コードを誤薬チェッカーアプリを使って読み取ります。
- 服薬対象者の薬で間違いがなければ、音声メッセージと画面で介護者にお知らせします。服薬対象者が異なる場合は、バイブレーション、音声メッセージ、画面表示で間違いであることを介護者に伝えます。



服薬間違いがあった場合は、介護者に対して、視覚、聴覚、触覚に働きかけることで誤薬の防止につながります。

サーバを利用したファイルの管理

画像ファイル管理

QRコード読み取り時に服薬対象者の写真を表示することができます。

端末毎にカメラで写真を取ることもできますが、端末の台数が多い場合は、作業の手間がかかるので、サーバに接続し、写真データをダウンロードすることができます。



サーバの写真データはJPG形式で保存されるので、自由に編集可能です。既存の写真サーバに転送することで、写真データの転用も可能です。

ログデータの管理

QRコードの読み取りログをサーバに転送することもできます。サーバに保存されるログはCSV形式で保存されるので、表計算アプリ（エクセル等）を用いて自由に編集可能です。又サーバのログを端末に取り込むことも可能です。複数の端末のログを取り込んで端末で確認することもできます。

ネットワーク接続

写真データの管理やログデータの管理等の為にお客様が用意した PC(サーバ)やインターネット上のサーバにアクセスすることができます。 誤薬チェッカーは以下の 3 種類のサーバアクセスに対応しています。



Windows 共有フォルダ接続

セキュリティの観点から施設内の端末をインターネットに接続したくない場合があります。そのような場合は、施設内の閉じたネットワーク内でアクセスできる Windows パソコンをサーバとして利用可能です。施設内の Windows パソコンで写真を保存しているフォルダを共有設定することで誤薬チェッカーからアクセスすることができます。

クラウドサーバ接続 (オプション)

施設内にネットワーク環境がない場合、アイトシステムが用意したクラウドサーバの利用が可能です。



SSH(SCP)サーバ接続

施設内でレンタルサーバ事業者を介してホームページの開設を行なっている場合、レンタルサーバ事業者の SSH(SCP)サーバが使える場合があります。そのような場合、SSH(SCP)サーバを誤薬チェッカーのサーバとして利用可能です。

サーバの設定

誤薬チェッカーは『Windows 共有フォルダ接続』、『クラウド接続』、『SSH(SCP)接続』の3種類のサーバアクセスに対応しています。

Windows 共有フォルダ接続

『Windows 共有フォルダ接続』の設定の流れを以下に示します。



Windows PC IP アドレスの確認方法

誤薬チェッカーアプリから WindowsPC にアクセスするためには、WindowsPC の IP アドレスが必要になります。WindowsPC の IP アドレスの確認方法を以下に示します。(Windows10 での画面で示しています)



設定メニューの表示

画面左下のスタートアイコンをクリックし、表示された [設定]メニューをクリックします。

設定画面が表示されます。



ネットワークとインターネットの表示

設定画面の中から[ネットワークとインターネット]をクリックします。



ネットワークの状態表示

ネットワークの状態が表示されます。
接続対象のネットワークの[プロパティ]ボタンをクリックします。



IP アドレスの確認

表示された画面をスクロールして、下方部のプロパティの内容を確認します。
IP アドレスの項目で IP アドレスを確認します。

アクセスアカウントの作成

誤薬チェッカーアプリから WindowsPC にアクセスするためには、共有フォルダにアクセスするためのアカウントが必要になります。

新規アカウントの作成方法を以下に示します。（既存のユーザアカウントを利用する場合は不要です。）



設定メニューの表示

画面左下のスタートアイコンをクリックし、表示された [設定]メニューをクリックします。

設定画面が表示されます。



アカウントの表示

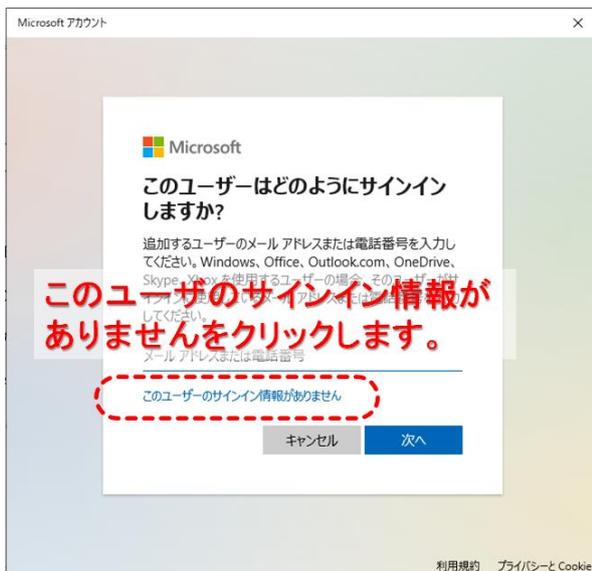
設定画面の中から[アカウント]をクリックします。



アカウントの設定

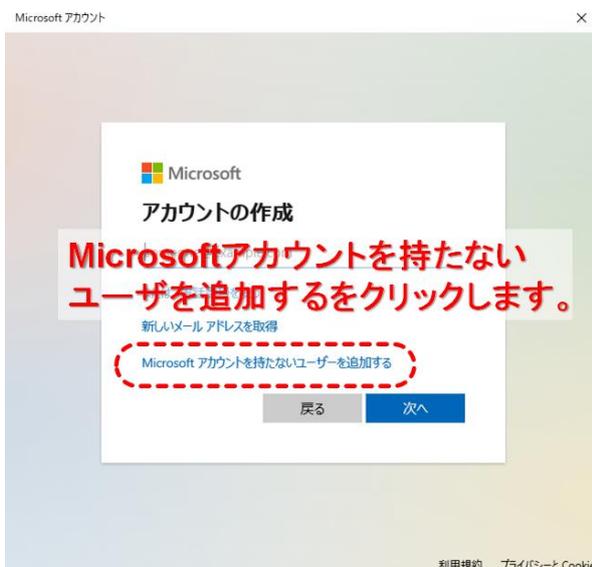
アカウントの設定画面左のメニューから「家族とその他のユーザ」をクリックします。

表示された画面の他のユーザーで「その他のユーザーをこの PC に追加」をクリックします。



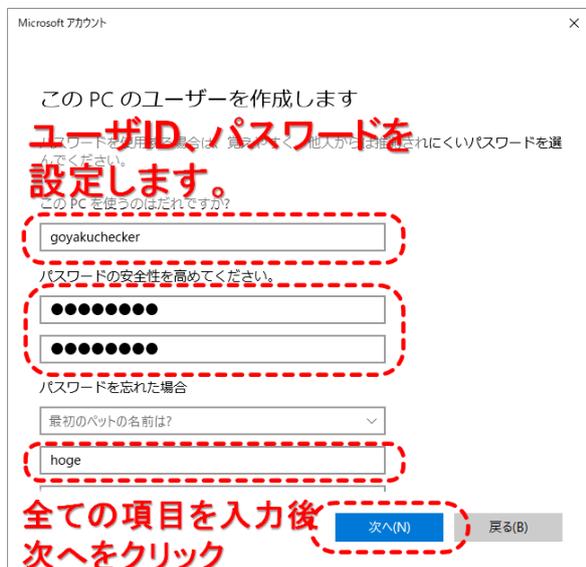
サインイン情報の設定

表示されたダイアログ下部の「このユーザーのサインイン情報がありません」をクリックします。



アカウントの作成

「Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する」をクリックします。



ユーザ ID/パスワードの設定

新規のユーザ ID とパスワードを入力します。ここで入力した ID とパスワードを端末アプリに設定します。忘れないように覚えておいて下さい。

パスワードを忘れた場合のセキュリティの質問を選択し、質問に対する回答を入力します。

3 種類のセキュリティの質問と回答を入力後「次へ」をクリックします。

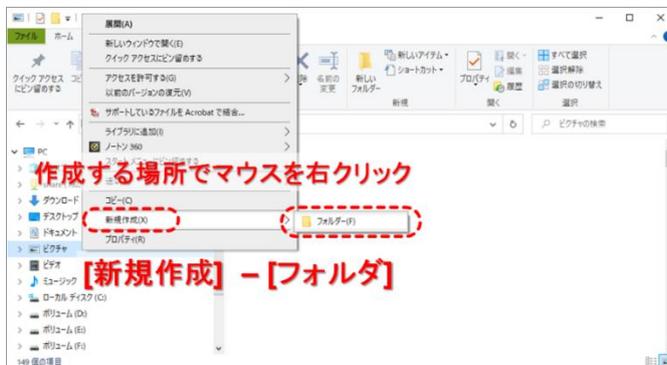


追加したアカウントの確認

追加したアカウントが表示されると、正常にアカウントが作成されています。

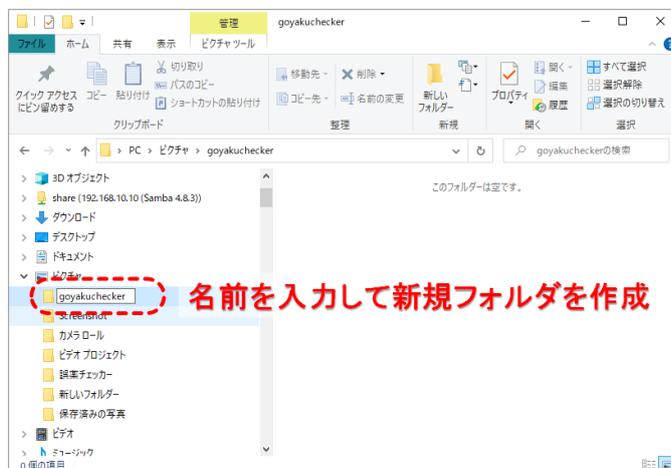
画像保存フォルダの作成

誤検査チェッカー端末のダウンロードする画像ファイルを保存しておくフォルダを新規に作成します。画像保存フォルダを作成方法を以下に示します。既存のフォルダを利用する場合は不要です。



Windows エクスプローラを起動します。

Windows エクスプローラの画面でフォルダを左クリックで選択し、右クリックでメニューを表示します。表示されたメニューの [新規作成] - [フォルダ] を選択します。



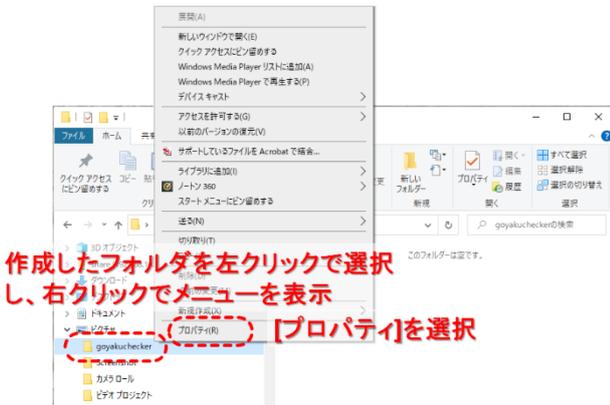
フォルダの新規作成

画像を保存するフォルダの名前を入力します。フォルダ名は適当な名前を指定して下さい。ここでは「goyakuchecker」としています。

画像保存フォルダの共有

作成した画像保存フォルダに端末アプリからアクセスできるように Windows 共有設定を行います。

注意：管理者権限を持つユーザでログインして作業を行って下さい。



フォルダプロパティの表示

共有設定を行うフォルダを左クリックで選択し、右クリックでメニューを表示します。

表示されたメニューから[プロパティ]を選択します。フォルダプロパティのダイアログボックスが表示されます。

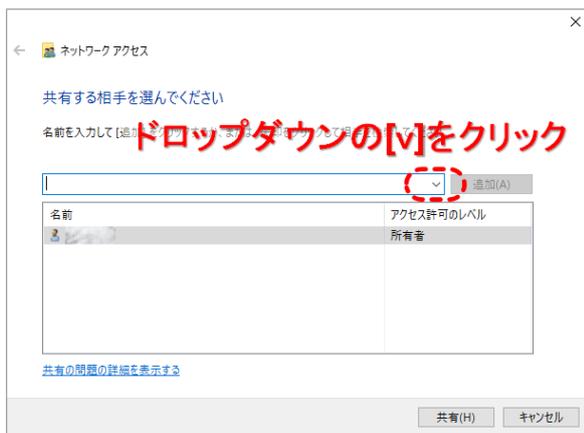


フォルダプロパティの設定

フォルダプロパティのダイアログボックス上部の「共有」タブをクリックして、共有に関する画面を表示します。

[共有(s)...]ボタンをクリックします。

ネットワークアクセスのダイアログボックスが表示されます。



ネットワークアクセスの表示

共有するフォルダに対してアクセスを許可するユーザの設定を行います。

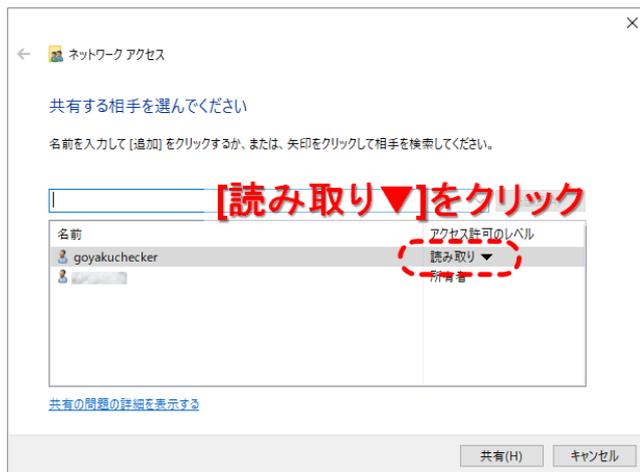
アクセスアカウントの作成で追加したアカウントに対して、アクセス許可の設定を行います。

追加するアカウントのリストを表示するために、[v]をクリックします。



アクセスアカウントの追加

表示されたドロップダウンリストの中からアクセスアカウントの作成で追加したアカウントを選択し[追加]ボタンをクリックします。



アクセス許可のレベルの変更

ドロップダウンリストで選択したユーザがリストに追加されます。

追加したユーザのアクセス許可のレベルは初期設定では[読み取り]に設定されます。

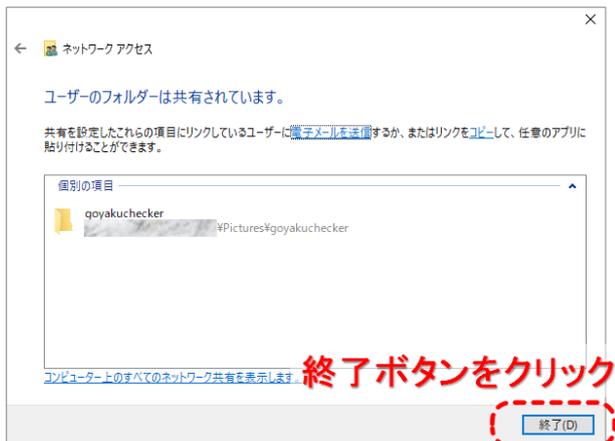
端末からの画像データのアップロードを可能とするために、アクセス許可のレベルを変更します。

追加したユーザのアクセス許可のレベルの[読み取り▼]をクリックします。<



書き込みアクセスの許可

表示されたドロップダウンリストから[読み取り/書き込み]を選択し、画面下の[共有(H)]ボタンをクリックします。



ネットワークアクセス設定の終了

共有設定を行うフォルダのネットワーク設定が完了しました。
[終了(D)]ボタンをクリックします。
次にフォルダのアクセス許可の設定を行います。



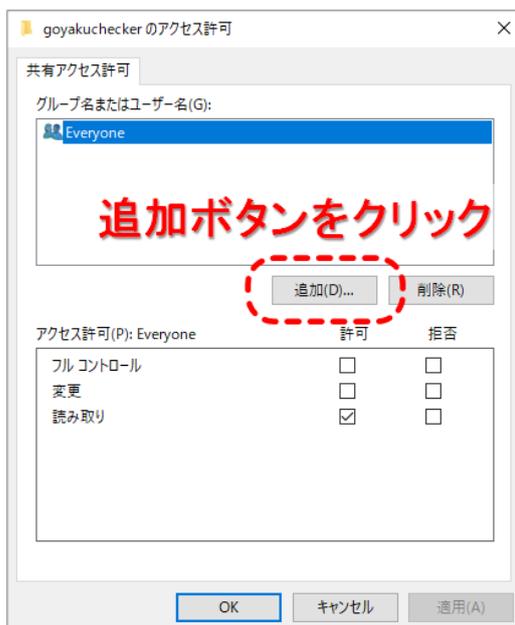
フォルダのアクセス許可

フォルダのアクセス許可の設定を行います。
[詳細な共有(D)...]ボタンをクリックします。
詳細な共有の設定ダイアログボックスが表示されます。



詳細な共有設定

詳細な共有の設定ダイアログボックス上部の「このフォルダを共有する(S)」のチェックボックスにチェックをいれます。
画面が有効になるので、[アクセス許可(P)]ボタンをクリックします。



アクセス許可の設定

共有アクセス許可にアクセスアカウントの作成で追加したアカウントを追加します。

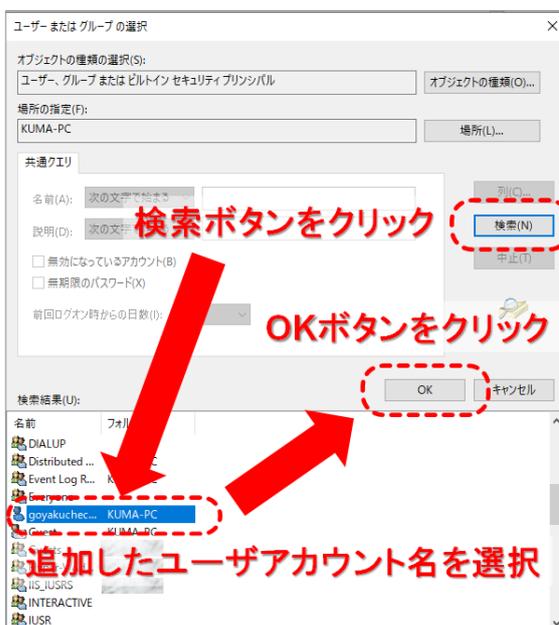
画面中ほどにある[追加(D)...]ボタンをクリックします。ユーザーまたはグループの選択ダイアログボックスが表示されます。



ユーザーまたはグループの選択

選択するオブジェクト名を入力します。

画面中ほどにある[詳細設定(A)...]ボタンをクリックします。



ユーザーアカウントの追加

ダイアログボックス中程右にある[検索(N)]ボタンをクリックします。

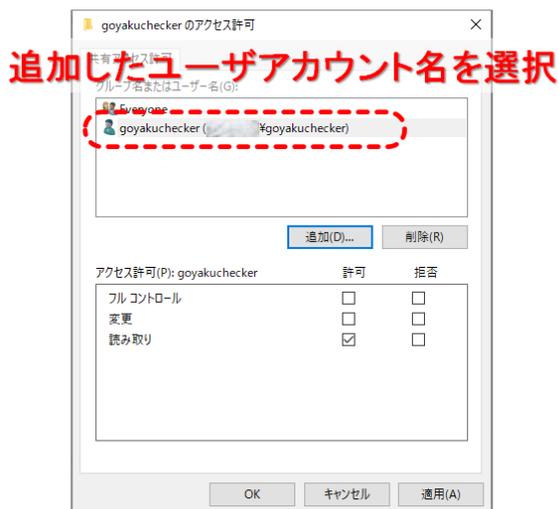
ダイアログボックス下部の検索結果に登録されたユーザーが表示されます。

アクセスアカウントの作成で追加したアカウントを選択後、[OK]ボタンをクリックします。



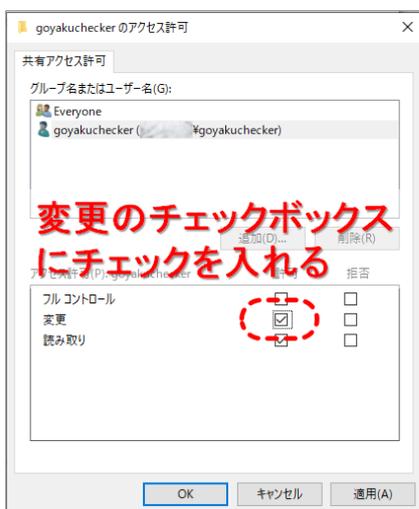
選択するオブジェクト名の入力

選択するオブジェクト名の入力欄にアクセスアカウントの作成で追加したアカウントが入力されます。
[OK]ボタンをクリックして、ユーザーまたはグループの選択ダイアログボックスを閉じます。



アクセス許可

アクセス許可のダイアログボックスに戻ります。
ダイアログ上部のグループ名またはユーザー名のリストに追加したユーザアカウントが表示されます。
追加したユーザアカウントをクリックして選択状態にします。



アクセス許可の変更

ダイアログ下部のアクセス許可に追加したユーザアカウントのアクセス状態が表示されます。
「変更」の「許可」の欄のチェックボックスにチェックを入れます。

Everyone ユーザが表示されている場合、Everyone ユーザを選択



Everyone ユーザの削除

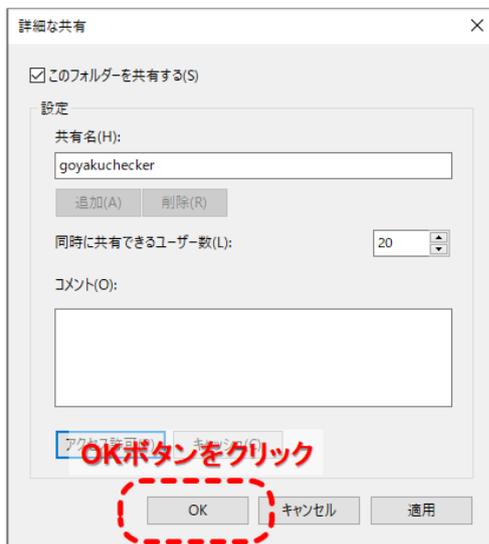
ダイアログ上部のグループ名またはユーザ名のリストに Everyone ユーザが含まれている場合はセキュリティ上の問題があるのでアクセス許可を削除します。

Everyone ユーザが含まれていない場合は、[OK]ボタンをクリックして、アクセス許可のダイアログボックスを終了します。

ダイアログ上部のグループ名またはユーザ名のリストに Everyone ユーザが含まれている場合、Everyone ユーザをクリックして選択状態にします。

ダイアログ中部の[削除(R)]ボタンが有効になるので、[削除(R)]ボタンをクリックして、Everyone ユーザのアクセス許可を削除します。

[OK]ボタンをクリックして、アクセス許可のダイアログボックスを終了します。



誤薬チェッカーアプリにPCのIPアドレス、追加したユーザアカウント名、パスワード、共有フォルダ名を設定することで、ダウンロード/アップロードボタンが利用可能となります

詳細な共有の設定完了

詳細な共有の設定ダイアログボックス下部の[OK]ボタンをクリックして、設定を完了します。

端末の誤薬チェッカーアプリにパソコンの IP アドレス、ユーザアカウント、パスワード、共有フォルダ名を設定することで、画像のダウンロード、アップロードが利用可能となります。

クラウド接続

施設内にサーバ環境が用意できない場合は、アイトシステムが用意したクラウドサーバを用いることで、端末から写真データのアップロードやダウンロードが行えます。又 PC やスマホでクラウドにログインすることでデータの管理が簡単に行えます。

クラウドの URL アドレスは <https://goyakucheker.aitosys.co.jp/> です。

ログイン画面にてユーザ ID とパスワード（ユーザ ID とパスワードは別紙添付資料をご参照ください）を入力し、ログインするとホーム画面が表示されます。



※パスワードはログイン後いつでも自由に変更可能です。

SSH(SCP)接続

レンタルサーバ事業者の SSH (SCP) サーバ、或いは自身で運営する SSH (SCP) サーバを利用することができます。誤薬チッカーPro のサーバとして利用するためには、ls コマンドの以下のオプションに対応している必要があります。

```
ls -o --time-style=+'%Y-%m-%d %H:%M:%S'
```

SSH サーバのコンソールで上記のコマンドを実行してエラーが表示されなければ、利用可能です。詳細は各施設のネットワーク管理者に相談下さい。

- SSH (SCP) 接続に必要な情報

- SSH (SCP) サーバの IP アドレス

- SSH (SCP) サーバのログイン ID / パスワード

- SSH (SCP) ポート番号

- SSH (SCP) サーバを利用する準備 (アクセスフォルダの作成)

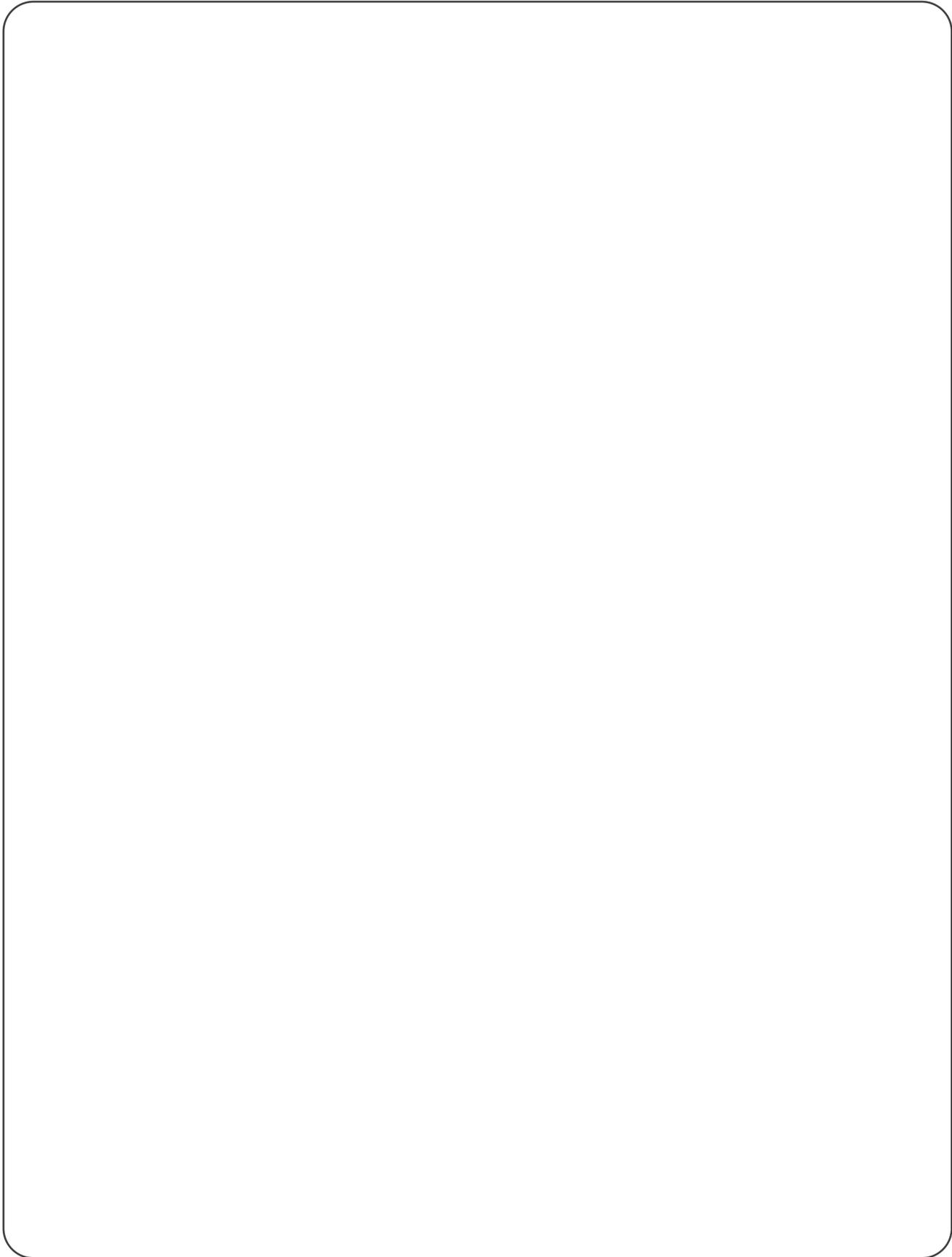
Windows のコマンドプロンプトや TeraTerm 等の通信ソフトを使って SSH (SCP) サーバにログインします。ここでは Windows のコマンドプロンプトを使用する例を示します。

Windows のコマンドプロンプトを起動します。

```
yasuo@aitosys:~
Microsoft Windows [Version 10.0.19043.1526]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Users\yasuo> ssh -p [ポート番号] [ユーザ ID]@[IP アドレス]を入力します
[ユーザ ID]@[IP アドレス]: s password: <パスワードを入力します
[ユーザ ID]@[IP アドレス] ~]$ mkdir goyakuchecker <アクセスフォルダを作成します
[ユーザ ID]@[IP アドレス] ~]$ ls
goyakuchecker
[ユーザ ID]@[IP アドレス] ~]$ exit <ssh サーバをログアウトします
ログアウト
Connection to 192.168.100.100 closed.
C:\Users\yasuo>
```

コマンドプロンプトを終了すれば準備は完了です。

×E



● **アイトシステムのホームページ <http://www.aitosys.com>**

各種製品情報、サポート案内等の情報を提供しております。

● **製品に関するご質問・ご相談**

製品に関するご質問・ご相談に電話お答えします。

【電話番号】 0800-200-2790（通話料無料）

上記電話番号を利用できない場合や携帯電話等からは、0773-45-3166に連絡をお願いします。

※サポート受付時間：祝日を除く平日(月曜～金曜) 9時から 17時まで

製品に関するご質問・ご相談にメールでお答えします。

【サポート専用メールアドレス】 support@aitosys.com

ご質問・ご相談の際は購入品のシリアル番号及びアプリ版数お知らせください。アプリ版数は「設定」メニューの「誤薬チェッカーについて」を参照下さい。

使用した音素材: OtoLogic(<https://otologic.jp>)

本ページの記載の情報は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承下さい。

最新の情報はアイトシステムのホームページ(<http://www.aitosys.com>)にてご確認ください。

株式会社アイトシステム 〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町 4-1-1 アミックビル 3F